

令和元年 7月22日

理事者各位

千葉県民間保育振興会
会長 茂呂 剛

理事者会議開催通知

下記の通り理事者会議を開催いたしますので、宜しくご参集の程お願い申し上げます。

記

日時 令和元年 7月 30日 (火) 10時 ~ 12時

場所 全日警ホール第3会議室2 (市川市)

住所：〒272-0021 千葉県市川市八幡 4-2-1 電話：047-335-1542

議題 議事日程通り

議事日程

- 1, 会長挨拶 (茂呂 剛会長)
- 2, 議長就任 議長(篠田 光代 副会長)
- 3, 定足数確認 (山田 裕宇記)
- 4, 資料確認 (事務局長) 事前配布資料 枚 (本用紙を含む)
当日配布 枚 (内差替資料 枚)
合計 枚
- 5, 議事録作成人紹介 作成人(山田 裕宇記)
- 6, 議事録署名人 (議長)
(小島 基江) (村上 輝子)
- 7, 前回議事録承認 (議長)

議題の確認

8, 新議題の採択 (議 長)

(事項)

① ()

(事項)

① ()

9, 本日の議題

(審議事項)

① ・ 防災危機管理研修 (経営研究委員会)

(協議事項)

① ・ 旅費申請書 (案) (事務局・総務)

② ・ 保育ステップジャンプ 50 号の発行について (当日資料配布) (広報)

③ ・ 令和 2 年度保育関係予算要望書 (案) (調査要望委員会)

10, 各委員会報告

事務局・総務委員会・会計

・ 第 1 回正副会長会議 7/30、第 2 回正副会長会議 8/26

・ 全国私立保育園連盟 全国調査部長会議 8/29、30

・ 令和元年度振興会並びに私保連の会費納入状況について

研修委員会

・ 研修報告

広報委員会

・ HP 修正内容について

調査要望委員会

・

経営研究委員会

・ 養成校と保育施設の情報交換会

保育者の集い委員会

・

青年部会

・

その他

・

11, 次回開催日時場所確認

(事務局)

日 時 令和元年 9 月 17 日 (火) 14 時～ 17 時

場 所 未定

令和元年度 千葉県民間保育振興会 第3回理事者会議事録

1. 日時 : 平成31年6月25日(火) 14:00 ~ 17:00
2. 場所 : 全日警ホール(市川市) 第3会議室2
3. 出欠者

出席者(20名:敬称略)

茂呂 剛(新木戸保育園)	丸山 純(第二勝田保育園)
篠田 光代(八木北保育園)	高橋 弘道(明照保育園)
久居 麻紀子(音のゆりかご保育園)	田中 幸夫(新井保育園)
山田 裕宇記(小金西グレースこども園)	橘 朱美(いわさき保育園)
岩間 真佐代(弁天保育園)	村上 輝子(えどがわ南流山保育園)
猪瀬 貴大(愛泉保育園)	飯島 一幸(さくら保育園)
天野 洋史(あすなろ保育園)	伊藤 朋成(蓮沼保育園)
利光 美亜子(四街道保育園)	林 健一(木更津むつみ保育園)
佐竹 恒輝(てまり保育園)	渡辺 信哉(東浪見こども園)
大越 紀明(緑が丘はぐみの杜保育園)	西野 未絵(百合台保育園)

欠席者(6名:敬称略)

川副 孝夫(風の谷こども園) 松崎 総一(西船みどり保育園) 熱田 寛明(東保育園)
小島 基江(つくし保育園) 力丸 裕美(稔台保育園) 飯田 倫雄(富津保育園)

4. 【会長挨拶】

茂呂会長から以下の挨拶がなされた。

本日は、大変お忙しい中、ご出席頂き有難うございます。先日、熊本にて全国私立保育園連盟にて全国私立保育園研究大会が行われました。また千葉県からも多数のご参加を頂きありがとうございました。研究大会でも話がありましたが、10月より保育無償化が本格的にスタートします。保育園運営においては大きな転機となる反面、保護者の皆様には丁寧な説明並びに施設関係者の皆様におかれましては慎重な対応が必要ではないかと思われまます。今後、理事の皆様と活発な意見交換や情報交換等を行うとともに会員園の皆様にもタイムリーな情報発信が行えるよう進めていければと思います。以上です。よろしくお願ひします。

5. 【議長就任】

高橋副会長が任命され開会宣言がなされた。

6. 【定足数の確認】

山田総務委員長より「理事者総数 26 名中 20 名出席並びに委任欠席 5 名であり過半数の出席が確認され、定足数の充足が確認された」との報告がなされた。

7. 【資料確認】

山田総務委員長より、以下の資料の確認がなされた。

- ・ 6 月理事者会議開催通知
- ・ 5 月理事者会議議事録（前回分）
- ・ 7 月プロジェクト研修会 企画・予算（案）承認の件
- ・ 振興会 HP リニューアル時メールソフト導入の件
- ・ 千葉県民間保育振興会 各委員会封筒必要枚数について
- ・ 新規加入園会員台帳（当日資料）
- ・ 保育ステップジャンプ（当日資料）

8. 【議事録作成】

山田裕宇記（小金西グレースこども園）が 6 月度議事録の作成担当とされた。

9. 【議事録署名人】

- ・ 議長：高橋 弘道（明照保育園）
- ・ 署名人：橘 朱美（いわさき保育園） 岩間 真佐代（弁天保育園）
が指名された。

10. 【前回議事録承認】

承認された。

11. 【新議題の採択】

全私保連と振興会加盟状況について（審議事項）
令和元年度新規園会員園について（審議事項）

12. 本日の議題

【審議事項】

<7 月プロジェクト研修会企画（案）、講師依頼書（案）>

田中事務局長より本審議事項に関し事前配布された資料を基に説明後、審議の後、承認がなされた。概要は以下に記載する。

- ・ 詳細については事前配布された資料に記載するものとする。内容を出席した理事者にて最終確認し、変更並びに改善点は無いものとされた。また、山田総務委員長より本日時点で既に参加募集定員を満たしているとのこと。

<全私保連と振興会加盟状況について>

山田総務委員長より口頭にて説明後、審議の後、承認がなされた。概要は以下に記載する。

- ・7月プロジェクト研修会の参加者を集計する中で参加者要件に達しない園からの参加者申し込みがあったとのこと。当会会員名簿と全私保連名簿を照らし合わせ、現在、当会に非加盟で私保連のみに加盟している園が複数園存在しているとのこと。私保連は当会を加盟していなければ加盟することが出来ない為、上記の複数園に関しては今後当会にも加入して頂くよう事務局並びに総務委員会より慎重かつ丁寧にご案内をしていくこととされた。

<令和元年度新規園会員園について>

田中事務局長より本審議事項に関し当日配布された資料を基に説明後、審議の後、承認がなされた。概要は以下に記載する。

- ・詳細については事前配布された資料に記載するものとする。記載内容を出席した理事者にて確認が行われた。7園の加盟が承認され、今後事務局及び総務委員会にて会費請求処理を進めていくこととされた。

【協議事項】

<一斉送信メールソフトの導入について>

大越広報委員長より本協議事項に関して事前配布された資料を基に説明後、協議がなされた。概要は以下に記載する。

- ・詳細については事前配布された資料に記載するものとする。HPが刷新され今後円滑な運用と会員園に対する迅速かつタイムリーな情報提供が行えるようメール一斉配信ソフトの導入を新たにやりたいとのこと。費用は月額1,000円とのこと。協議の結果、費用対効果は十分にあると考えられ今後、広報委員会にて進めていくこととなった。なお、その際は仕様書等を理事会で精査していくこととなった。

<HP更新の担当と流れについて>

大越広報委員長より本協議事項に関して口頭にて説明後、協議がなされた。概要は以下に記載する。

- ・刷新されたHP内の今後の運用と役割について検討が行われた。各委員会で専用IDがあり、活動及び報告等に関する更新作業は各委員会でそれぞれ行うこととなった。
- ・新規加盟園の情報をHPに追加する作業に関しては専門的な技術が必要な為、保守契約したエレメントシステム(株)が行うこととなった。

<広報誌の掲載記事について>

大越広報委員長より本協議事項に関して当日配布された資料を基に説明後、協議がなされた。概要は以下に記載する。

- ・詳細については当日配布された資料に記載するものとする。内容を出席した理事者にて最終確認し、変更並びに改善点は無かった。今後、追加の記載等があれば広報委員会で検討し、追加していく予定とのこと。

13.各種報告事項

○ 事務局

<令和元年度総会資料 欠席園発送、令和2年度及び3年度 総会日程 >

- ・田中事務局長より先日行われた総会において欠席された園への当日資料発送が新報社より行われたとのこと。令和2年度は5月19日(火)、令和3年度は5月18日(火)に予定し、会場は同会場とのこと。

<令和元年度役員名簿>

- ・山田総務委員長より先日配信された今年度の役員名簿の確認が行われた。一部未確認の箇所があった為、確認次第、整った役員名簿を改めて理事の皆様へ配信させていただきますとのこと。

<令和元年度 会費請求>

- ・猪瀬会計局長より本日午前中にて会員園に対する今年度の会費請求案内書の発送作業を事務局並びに総務委員会にて行ったとのこと。今後、確認並びに処理を進めていくとのこと。

<各委員会 封筒必要数伺い>

- ・田中事務局長より今年度、各委員会の必要な封筒枚数の確認をしたいとの案内があった。事前配布された「各委員会封筒必要枚数」に記入し、回答を頂きたいとのこと。集計後の委員の皆様への封筒発送方法は後日改めてご案内させていただきますとのこと。

○ 研修委員会

<6月6日(木)久保健太先生研修会(1回目)報告>

- ・橘研修委員長より6月6日(木)に久保健太先生の連続講座研修が千葉市民会館にて行われたとのこと。参加定員50名に対し43名の参加があったとのこと。次回は7月23日(火)に第2回目を予定しており、準備を進めているとのこと。

- ・ 6月20日（木）に保育実践研究会が行われ、参加定員40名に対し23名の参加があったとのこと。次回の保育実践研究会では定員に達するように周知等を強化していきたいとのこと。

○ 広報委員会

<HP 修正内容について>

- ・ 大越委員長より刷新したHPに関して現在、より運用しやすいよう細かな改善等を踏まえ保守契約先のエレメントシステム（株）と調整並びに改善を図っているとのこと。今後、理事の皆様で何かお気づきの際にはご連絡を頂ければ幸いですとのこと。

○ 調査要望委員会

- ・ 高橋担当副部長より昨年と同様、千葉県への要望書提出に向けて県保協と協力をしながら準備を進めていますとのこと。8月の提出時期に向けて今後の理事の皆様にはたたき台等を提示させて頂く予定とのこと。

○ 経営研究委員会

- ・ 村上経営研究委員長より6月21日（金）に養成校と保育施設の情報交換会が行われたとのこと。保育施設関係者28名、養成校関係者15名の計43名とのこと。

○ 保育者の集い委員会

- ・ 岩間保育者の集い委員長より6月18日（火）に第2回役員会並びに委員会が行われ、委員についても14名の人員を確保出来ましたとのこと。今年度の保育者の集い開催日は、「令和2年1月25日（土） グリーンタワー幕張」にて開催予定とのこと。

○ 青年部会

- ・ 飯島部会長より5月30日（木）に全体会が行われたとのこと。また昨日今年度1回目の役員会が行われ、9月研修会を含めた今後の活動について話し合いを行ったとのこと。

○ その他

- ・ 田中事務局長より6月27日（木）に全国私立保育園連盟の定期総会が行われる予定とのこと。千葉県からは12名参加予定とのこと。

次回開催日時場所確認

日時：令和元年7月30日（火） 10：00～12：00

場所：全日警ホール（市川市八幡市民会館） 2階 第3会議室（市川市）

以上をもち 高橋 弘道議長 の閉会宣言により終了となる。

本理事会の正確を期するため、以下署名捺印する。

議長

明照保育園 高橋 弘道 印

議事録署名人

いわさき保育園 橘 朱美 印

弁天保育園 岩間 真佐代 印

令和元年7月30日

協議事項	No.
審議事項	

委員会名	経営研究委員会	
担当副会長	篠田 光代	印
委員長	村上 輝子	印
議案作成者	村上 輝子	印

別紙資料	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無	枚
------	---	---

千葉県民間保育振興会

令和元年度 経営研修
「防災・危機管理研修」企画並びに予算（案）について

I、事業要綱

1、事業実施に至る背景・趣旨

2011年の東日本大震災、去年発生した北海道大地震。地震の非常に多い国で暮らす我々は、またいつ何時、大きな地震に見舞われるか分からない状況の中にあります。また、西日本豪雨災害等、全国各地で水害や台風にも襲われるような状況がありました。

子ども達の命を預かる施設として我々は、防災に対する知識と技術を学び、防災に対する意識の向上を図り、様々な災害に襲われた時にも、慌てることなく冷静に対処することが必要であります。

常日頃より意識を高めると同時に、あらゆる災害に対して対応できる知識を習得すべく本研修を企画いたします。

2、事業対象者

- (1) 対外対象者 なし
- (2) 対内対象者 千葉県民間保育振興会加盟園の園長・主任・副主任・リーダー・防火管理者等

3、事業目的（対外）

なし

4、事業目的（対内）

防災に対する知識と技術等を学び有事に備えるとともに、防災に対する意識の更なる向上を図る

II、事業概要

1、実施日時

令和元年11月28日（木） 14時30分～16時00分（受付14時00分～）

2、実施場所・会場

千葉県西部防災センター

所在地：〒271-0092

千葉県松戸市松戸558-3

TEL：047-331-5511

FAX：047-331-5522

4、コンプライアンス確認事項

なし

5、参加員数計画並びに参加推進方法

対外対象者：なし

対内対象者： 60名 (最大100名)

計 60名

参加者向けの対応

・参加推進方法

①各加盟施設への案内文配布

②HPの活用

6、外部協力者・協力種別

千葉県西部防災センター

7、対外配布資料の有無

なし

8、実施組織

主催：千葉県民間保育振興会

主管：千葉県民間保育振興会 経営研究委員会

Ⅲ、事業内容

1、事業名 「防災・危機管理研修」

2、開催スケジュール

開始時刻	終了時刻	内 容	担 当 者	備 考
13:00		委員会集合		
14:00	14:20	受付		
14:20		開会式・会長挨拶	茂呂会長	
14:30		研修プログラム		
	16:00	(90分の体験プログラム)		
16:00	16:10	閉会式・副会長講評	篠田光代副会長	
16:10	16:20	質疑応答・アンケート記入		アンケート回収
16:20		撤収作業・解散		
16:30		完全撤収		

3、詳細

(1) 内容

千葉県西武防災センターが行う90分の体験ツアー（地震・台風・火災等）に参加し、各災害の知識を増やし、対応を学ぶ

(2) 役割分担

総括： 篠田 光代
司会： 村上 輝子
備品担当： 富澤 真史
会計担当： 猪瀬 貴大 (会計)

受付： 嶋本 賢修・後藤 敏宏
会場設営担当： 杉本 正人・飯田 倫雄
連絡係： 三津田 優・林 健一
写真撮影： 大越 紀明 (広報)

(3) 会場設営図

参考：<http://www.bousai-chiba.jp>

(4) 備品リスト

備品リスト

備品名	数量	手配先	備考
受付セット (名簿・ペン・垂れ幕)	1 式	えどがわ南流山	
音響 (マイク・アンプ)	1 式	西部防災センター	
案内文	1 式	えどがわ南流山	
参加者アンケート	80 枚	えどがわ南流山	
当日配布資料	1 式	西部防災センター	
看板	1 式		

令和元年10月吉日

千葉県民間保育振興会 会員各位

千葉県民間保育振興会
会長 茂呂 剛
経営研究委員会
委員長 村上 輝子

千葉県民間保育振興会「防災・危機管理研修会」について（ご案内）

皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、近年、大地震や台風、集中豪雨等による風水害が多く発生しています。そのような状況の中で、日頃から災害に対し高い意識を持ち、備えることが重要であります。特に、園を守る立場として災害時に必要な対応策について知識を備えることが最も重要なことであると思えます。

つきましては、地震や暴風雨等の擬似体験を通して、知識・スキルの向上を図るべく研修会を下記のとおり開催いたしますので、ご参加下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

記

- [日 時] 令和元年11月28日(木) 14:20～16:30
(受付) 14:00～14:20 ※時間厳守でお願い致します。
- [場 所] 千葉県西部防災センター
住所：千葉県松戸市松戸 558-3 TEL：047-331-5511 ※交通案内 裏面参照
- [参加対象者] 園長、主任、副主任、リーダー、防火管理者等
- [参加費] **無料**
- [研修内容] 防災センターのインストラクターによるツアー形式での研修となります。(約90分)
1、オリエンテーション
2、総合テーマ室（モニターにて災害知識を学びます）
3、地震体験（地震体験を通して地震時の行動、備えの重要性について学びます）
4、風水害体験（風速30m/秒、雨量300mm/時の風雨体験）
5、応急救護（心肺蘇生法、AEDの使用方法を学びます）
6、火災・消火について（消火訓練を行います）
7、避難（煙の中を安全に避難する方法を学びます）
8、通報（火災や救急についての通報の仕組みを学びます）
※体験型研修の為、動きやすい服装でお越し下さい。
- [申込み方法] 裏面の申込書を記入の上、FAXまたはメールにて
- [申込み〆切] 令和元年11月15日(金)

問合せ・申込み先

千葉県民間保育振興会 経営研究委員会

たかね台ベビーホーム

杉本 正人

TEL：047-465-1100

FAX:047-465-1100

email: t.babyhome@arrow.ocn.ne.jp

『防災・危機管理研修』 申込書

申込み日：令和 年 月 日

施設所在市町村名： _____

保育園名： _____ 電話番号： _____

役職名	氏名

〔駐車場使用〕 あり ・ なし

※駐車場は数に限りがございますので、お乗り合わせの上、お越し下さい。

〔申込書送付先〕

千葉県民間保育振興会 経営研究委員会

たかね台ベビーホーム 杉本 正人

FAX:047-465-1100 e mail : t.babyhome@arrow.ocn.ne.jp

申込み〆切：令和元年11月15日（金）

※当日写真を撮影させていただきますのでご了承下さい。

一交通案内一



※松戸ICは平成29年度開通予定です。

- 徒歩—
JR 松戸駅東口 徒歩 25 分
- バス—
 - ・京成バス「松戸二中」バス停より徒歩約 8 分
 - ・JR 松戸駅西口 1 番乗り場より「市川駅」行きバス
 - ・JR 市川駅北口 1 番乗り場より「松戸駅又は松戸営業所」行きバス
 - ・北総鉄道 矢切駅 駅前ロータリー側乗り場から「松戸駅又は松戸営業所」行きバス

千葉県西部防災センター
住所：千葉県松戸市松戸 558-3

令和2年度保育関係予算に対する要望書

令和元年 月 日

千葉県知事 鈴木 栄 治 様

千葉県保育協議会
会長 圓藤 弘典
千葉県民間保育振興会
会長 茂呂 剛

平素から保育事業の推進向上について、保育士の処遇改善事業・保育士配置改善事業・多様なニーズに対応した子育て支援等の充実に特段の御高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、少子・高齢化社会の進行等、社会構造の複雑化に伴い、保育に対するニーズも多様化し、保育士不足が深刻になっています。また、社会構造の変化から子育て世代への支援も急務となっています。

保育所及び認定こども園は、乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場所であり、健康増進と安全で情緒の安定した生活ができる環境の用意と自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることが必要となります。そのためには、行政をはじめ私たち保育関係者が子どもの立場に立って、子育てをめぐる課題解決に積極的に取り組み、その目的を達成してまいりたいと決意を新たにしています。

千葉県保育協議会及び千葉県民間保育振興会では、令和2年度の予算編成にあたり別紙要望事項のとおり要望いたします。

つきましては、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。更に、国の予算の不十分な点については、県単独予算を確保いただきますようお願い申し上げます。

令和 2 年度予算要望書

〔重点要望項目〕

1. 保育士不足解消に対する有効な支援の要望

都市部での未だに解消されない待機児童の現状をみれば、保育士不足問題はますます深刻です。処遇改善が図られたり、保育士試験の回数を増やしたりする取り組みも始まっていますが、有資格者を増やし、潜在保育士を再就職につなげる更に一步進んだ手立てを講じる必要があります。また、職員間格差が生じないように、処遇改善を全職種へ拡大することを要望します。延いては、処遇改善に頼るのではなくベースアップの配慮を切願します。

2. 専任の事務職員配置の要望

新制度移行後、作成する書類が増え、事務にかかる負担は増加するばかりです。すでに園長、主任保育士の本来業務に支障をきたし、施設によってはそれでも足りず、事務作業のために残業、休日出勤せざるを得ない状況も生じています。国の公定価格の中の加算だけでなく、事務員を正規の職員として採用できるよう要望します。

併せて、年度末や不定期に行う調査や報告書などを簡潔なものにし、事務の軽減を図るよう要望します。

3. 調理員増員の要望

国が定める調理員等の配置基準は、最低基準が定められた昭和 23 年時から改善されることなく、新制度の公定価格においても、40 人以下 1 名、41～150 人まで 2 名、151 人以上 3 名(うち 1 名は非常勤)でしかありません。

時代は移り、3 歳未満児の利用が増え、離乳食へのきめ細やかな対応に手が取られるだけでなく、アレルギー食への対応や食育の推進も重要な業務となっており、栄養士や調理員にかかる負担は年々大きくなっています。現在の配置に加え、調理員 1 名の加配を要望します。

4. キャリアアップ研修に対する要望

試行錯誤の続くキャリアアップ研修ですが、広範・公平・利便性を高めるために他縣市採用の方式(有料研修)の取り入れや通信学習による受講体制等を整備されることを要望します。

5. 看護師の配置に対する要望

医療的ケア児を受け入れるにあたって看護師の配置は必要不可欠ですが、保育施設に看護師配置がされていないのが現状です。国の予算でも「多様な保育の充実」のなかで医療的ケア児受け入れのための予算が組まれているようですが、モデル事業に留まっています。

近年では、アレルギーや個別対応が必要な園児が増加して、保育所での看護師の配置の重要性が年々高まっています。この度の「保育所における医療的ケア児の受け入れに関するガイドライン」の序文の言葉「すべての子どもを受け入れることをあたりまえにしなければならない」の意図を踏まえ、園児が安心して保育所で生活をするための看護師1名の加配を要望します。

I. 県の施策・補助制度に関する要望

1 施設運営に関すること

(1) 保育士等人材確保対策について、有効な支援を要望します。

有資格者を増やすことは急務であり、県においても潜在保育士について、実態把握に尽力いただいておりますが、有効な手立てが追い付いておりません。再就職の後押しを加速し、現在就業中の保育士等の子の保育料負担の軽減など、継続就業を奨励する対策への拡充を要望します。

実現に向けて、更なる実行力ある施策展開ができるよう要望します。

(2) 職員配置基準の抜本的改善

『令和2年度国の施策に対する重点提案』で県から国に要望事項が提出されていますが、ご存じの通り保育士定数の改善は保育現場の質の改善に直結するとともに、職員定着の一助となります。1歳児定数の5:1への加算は大変ありがたい対応ですが、他では更に4:1を要望している県もあるようです。

しかし、そもそも保育士等人材不足から今の計算方式では途中入所を制限する等問題もありますので、1人あたりの単価改善を要望します。

(3) 保育士配置改善事業の継続と改善

(1)でも述べていますが、保育士の確保は都市部においても郡部においても共通の大きな課題の一つです。更なる職員の定着率向上のための労働環境改善対策として、保育士配置改善事業の継続と改善を要望します。また乳児・障がい児分は、それぞれ個別の加算とし、賞与分も加算した国の保育士給与改善に合わせた単価の改善を要望します。

(4) 障がい児保育の充実

3ヶ月未満児と障がい児の受け入れについて、加配1名はありがたい制度ですが、現在の制度では上限額が決められており、受け入れ人数にも限界があります。障がい児の受け入れでは、障害認定に至らずとも、特別な支援を必要とする児童が増加傾向にあります。配置改善事業を利用するためには、療育手帳や児童相談所長の認定が必要ですが、認定を拒む保護者もあり、折角の制度も利用が限定的になっている現状があります。

現在、特別支援が必要と思われる児童への巡回指導が行われておりますが、認定のしくみとして、この巡回指導事業を活用できないでしょうか。

保育所等が多様なニーズを持った児童、家庭の支援ができるよう、保育士配置改善事業の加算分の上限を拡大し、また認定基準・手続きの柔軟化など早急に取り組んでいただきたく要望します。

（５）施設整備に関わる借入返済への補助の復活

園舎の耐震構造への対応、0・1歳児保育のニーズの高まりにともない急務となった保育室の増築や改装、地域の子育て拠点としての高機能化など、保育所に求められる要求は高まる一方です。しかし、少子化の進行している郡部の法人では、将来の借入返済に不安を抱えるため、建て替えは難しくなっています。

かつては（独）福祉医療機構からの施設整備資金借入金に対する元本補助、利子補給等の制度がありましたが、平成14年度をもってなくなりしました。時代のニーズに応じていくために、施設整備にかかる借入返済への補助を復活してください。

２．市町村・教育委員会への指導調整に関すること

（１）保育士採用及び待遇にあたっての地域間格差の是正

県内都市部の自治体では、保育士確保のために支度金や家賃の補助政策を行っています。しかし、このような刹那的、近視眼的な保育士争奪政策は、保育士の定着を妨げるとともに保育士不足を拡大させてしまいます。

恒久的な処遇改善を奨励し、さらに均等な雇用機会や待遇の確保等を図るために、地域間格差を是正し、県全体で保育士等の格差ない待遇になるよう要望します。

（２）入所受入の是正

県内には特別な理由無く、入所に格差を設けている事例があるようです。応諾義務で利用者の権利が守られているはずですが、地域によっては、受け入れの見送りを黙認したり、市町村合併や施設の幼保・こども園変更等で、便宜上その地域の保育料に公私格差を設けている地域もあるようです。

こうした法令上根拠のない措置を改善されるよう要望します。

（３）小学校への円滑な接続の後押し

全国社会福祉協議会・全国保育士会では、『子どもの育ちの連続性を確保するために』といった小学校接続のためのリーフレットを作成し、保育所児童保育要録の位置づけや意義について説明しています。

都市部等大きな市では、予算化され幼保小の接続連携会議・研修等が年間を通して開かれています。郡部では縦割り行政の壁は厚く、接続連携会議・研修会等を開くことは困難で、公定価格の中の加算も活かされていません。

県教育委員会・教育長および教育委員との連携調整と、通達や制度上の配慮を要望します。

Ⅱ．国に対する要望

(1) 実勢価格に応じた保育所等整備交付金

老朽化の著しい保育所について、施設機能の強化やサービスの質の向上を図り、施設の増改築や設備の改善を積極的に進められるよう、保育所等整備交付金が継続・充実されるようにしてください。また、人件費や建設資材等の高騰により建築単価が上昇しており、実勢価格に応じた補助金額になるよう見直しを要請してください。

(2) 保育士等の処遇改善

保育士等の処遇は改善の手立てが講じ始められたと言っても、依然、他の職種と比較して低い実態にあり、そのことが保育士不足解消の阻害要因となっています。これまで、保育をになう保育所職員の処遇が低く押さえられてきたことが、保育事業の価値観を低下させてきました。

必要財源を確保し、専門性を持ち質の高い保育を行うことのできる保育士等が、安定的・継続的に働くことのできる給与水準と労働環境を速やかに実現してください。

千葉県保育協議会に関する要望

(1) 保育所保育士等研修事業での委託継続のお願い

新しい子ども・子育て支援制度の目的には「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」が示されているように、園長をはじめとして保育所職員に求められる専門性の一層の向上が求められ、更なる研修の必要性が高まっています。

千葉県保育協議会は、昭和47年から委託を受け保育士等研修事業を積極的に実施していますが、子育てをめぐる様々な課題を解決し、子どもと子育て世代への支援を充実したものにするためには、保育士等の質の確保は喫緊の課題となっております。

これまでの実績を踏まえ、関係職員の専門性を高め資質の向上を更に図るため、引き続き県研修事業の委託先を本協議会とすることをお願いします。

(2) 県運営費補助金増額のお願い

千葉県保育協議会は、認可保育所と認定こども園からの会費収入・県補助金及び県社協交付金により運営されております。本会としても事業費の支出の見直しを進めながら、安定した組織運営を目指しておりますが、昨今その財源の確保は難渋を極めております。

そこで、財源の安定を図るべく、県運営費補助金の増額をお願いします。

千葉県民間保育振興会に関する要望

(1) 千葉県民間保育振興会の活動を支援してください

千葉県民間保育振興会は発足以来、千葉県の保育団体として保育園経営に関する研修や保育者の資質向上に向けた研修を数多く実施し、保育園保育の質の向上に取り組んできました。また、近年は全国私立保育園連盟との連携などを通してよりよい保育制度の制定に向けて、また子育てがしやすい社会環境の実現に向けて活動してきました。現在、県内新設園の加盟等により250園あまりの会員園から、ますます会員は増加傾向にあり、より活発に活動していきたいと考えています。

県には今まで同様、保育に関する国の施策や県事業等について積極的な情報提供をお願いします。

あわせて、県における施策策定や研修実施の際には、会からの委員・講師等の派遣、また会を活用しての保育現場の情報収集など、協働関係のさらなる活性化に取り組んでいただければ幸いです。

令和元年7月30日

協議事項	No.	
審議事項		
別紙資料	有	無
		枚

担当委員会名	経営研究委員会委員会
担当副会長	篠田 光代 印
委員長	村上 輝子 印
作成者	村上 輝子 印
会計	猪瀬 貴大 印

千葉県民間保育振興会

令和元年度 養成校と保育施設の情報交換会報告並びに決算（案）承認の件

事業名：養成校と保育施設の情報交換会		
担当委員会名	担当副会長名	委員長名
経営研究委員会	篠田 光代	村上 輝子
(委員会メンバー)		
飯田 倫雄 ・ 林 健一 ・ 後藤 敏宏 ・ 嶋本 賢修 ・ 杉本 正人 富澤 真史 ・ 三津田 優		
参加人数	情報交換会	42名
	懇親会	14名
準備（準備にどのような努力をしたか）		
<ul style="list-style-type: none"> ・企画にあたり、前回の反省をもとに全員で知恵を出し合った。 ・会場使用許可について、備品等含め費用負担なしで借りることができた。 ・動員を伸ばすべく各市町村、園長会等でのPRを行った。 ・役割分担を明確にし、それぞれの役割等をしっかりと確認した。 ・事前アンケートを実施することによりスムーズな進行を心掛け、また当日がより有意義なものとなるよう努力した。 ・養成校側と連携を図り、日程・内容の協議を行った。 ・さらに交友を深めるため、懇親会を企画・実施した。 		
委員会開催 4回		

<p>内容</p>	<p>開催日時：令和元年6月21日（金） 13時00分～17時00分 開催場所：千葉商工会議所ツインビル2号棟14階 事業内容：振興会理事者、加盟園理事長・園長等と保育士養成校関係者と懇談し、保育施設と養成校の相互理解を深める。また、それぞれの立場から今後の県内の民間保育業界発展のための意見交換の場とする。 [1部] 養成校より現状の発表 [2部] 養成校と保育施設の意見交換 (2グループ：30分×2回転)</p>
<p>結果（まとめ）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート用紙を養成校と保育施設で区別した方がよかった。 ・ 参加者名簿を全員に配布した方がよかった。 ・ 参加者の名前が分かりにくかった為、首からかける物や机に置く物を使用し、終了後回収をして毎年使用する。 ・ 意見交換の内容をフリートークではなくテーマを決めて意見を出し合ってもよかった。 ・ 当日の欠席が多かったなので、来年度は開催時期や内容の検討をする。
<p>対外目的の達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育現場の現状や求められている保育者像を知る事で保育者養成に役立つ機会となった。
<p>対内目的の達成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在の学生の実態（特徴・意識・志向等）や養成校教育の実状を知り、現場の現状とすり合わせることで相互理解を深めることができた。
<p>趣旨の達成</p>	<p>達成の検証</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的に達した点 養成校とそれを受け入れる保育施設間で互いが抱える問題を共有し、県内養成校との連携強化に繋げる機会となった。 ・ 事業目的に達しなかった点 なし。

令和元年度 養成校と保育施設の情報交換会 決算書(案)

(単位 : 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 額	摘 要
(収 入 の 部)				
1	繰入金収入		0	0
2	事業費収入	85,000	85,663	663
収 益 計		85,000	85,663	663
(支 出 の 部)				
1	事業費支出	83,550		
	会場設営費	50,000	53,332	3,332 会場・情報交換会会場設営
	運営費	5,000	7,550	2,550 お茶代
	講師関係費	0	0	0
	広報費	0		0
	印刷製本費	5,000	7,940	2,940
	消耗品費	1,000	820	△ 180
	通信費	22,550	15,991	△ 6,559
	雑費	0	0	0
2	事務費支出	0	0	0
3	予備費	1,450	0	△ 1,450
	予備費	1,450		△ 1,450
	本部会計戻入		0	
費 用 計		85,000	85,663	663
収 支 差 額			0	

参加者名簿（養成校側）

令和元年度 養成校と保育施設の情報交換会 養成校参加一覧						
NO	学校名	参加講師	役職	グループ	懇親会	備考
1	植草学園大学	栗原ひとみ	発達教育学部教授	A	×	
2	植草学園短期大学	小林鶴枝	キャリア支援課課長	A	○	
3	植草学園短期大学	松原敬子	教授	A	×	
4	江戸川大学	鈴木忍	こどもコミュニケーション 実習センター課長	B	○	
5	千葉経済短期大学	上村麻郁	准教授	A	×	
6	千葉経済短期大学	若林晃	キャリアセンター参事	A	×	
7	千葉女子専門学校	堀切真寿美	教諭・就職担当	B	×	
8	成田国際福祉専門学校	平山紀子	専任教員	A	×	
9	千葉明德短期大学	大村あかね	講師	B	×	
10	千葉明德短期大学	古賀琢也	講師	B	×	
11	昭和学院短期大学	山下住香	助教授	A	×	
12	和洋女子大学	篠原晶子	進路支援センター事務室 室長補佐	B	×	欠
13	淑徳大学	酒井めぐみ	キャリア支援センター	A	○	
14	船橋情報ビジネス専門学校	生越雅志	教員	B	○	
15	船橋情報ビジネス専門学校	高橋豊	就職指導室	B	○	
			情報交換会 14名	懇親会 5名		

写真（視覚的な記録）



保育士養成校と保育施設の情報交換会 アンケート集計

●今回、情報交換会は、全体的にご満足いただけましたでしょうか？

- 1、非常に満足 8名 2、満足 13名 3、ふつう 4名
4、やや不満 1名 5、不満 0名

※ 理由

<養成校>

- ・園側のご苦勞、他の養成校との情報交換が出来たこと
- ・他の養成校の情報を知ることができ参考になった。
- ・園の先生方の思いをもっと伺いたかったと思います。
- ・保育施設の方とこのように情報交換することで共に学生を育てる共同していくことにつながると感じた。
- ・「情報交換会」としているのであれば、プログラムに振興会側からの保育業界の現状や共通課題の提供があってもよかったと思う。また、後半も園側から養成校に対する質問という形式であり、園の知りたい情報を取得するだけでなく、「交換会」としての意味を持たせるとより有効な会になると思いました。
- ・各養成校の状況を聞くことができたのでよかった。
- ・着任したての自分にとって多くの情報を知れ、顔のつながりも出来たのでよかった。

<保育施設>

- ・時間が短かった
- ・グループの人数が多過ぎると思いました。数人程度の方が話しやすく有り難いです。
- ・2部の情報交換会の時間がもう少し長いと良いと思います。
- ・養成校の先生方でなければ、という情報もいただきました。
- ・学生の本音を少し聞けた。
- ・養成校の現状がわかり、園側が思っている事も伝えられた。もっと話したかった。
- ・養成校の先生達の生の声が聞けたこと

●今回、情報交換会の内容は参考になりましたか？

- 1、大変参考になった 8名 2、参考になった 14名
3、ふつう 4名 4、あまり参考にならなかった 0名

※ 特に参考になった内容、もっと知りたかった内容等お書き下さい。

<養成校>

- ・日誌のとり方について

- ・就職にあたっての「一園主義」が絶対ではない事が分かったこと
- ・保育園が就職において専願でなくても構わないと考えていることが明らかになり、多くの学校が驚いていた。
- ・株式立に人が流れないためにも学生にとって助かる方法（期限）を探っていけたらと思った。
- ・就職活動について、一度に複数の受験はしないというルールを暗黙のうちに守っていたが、そうでなくてもよいという園長先生方のお考えを聞いてすべての保育園がそうなのか、どの位まであれば内定辞退が可能か等、具体的な話が聞けると良かった。

<保育施設>

- ・就職活動、実習など
- ・株式会社の募集方法を知れたこと
- ・株式会社の情報は参考になった
- ・養成校の現状、保育園の実際が分かったことはよかった
- ・学生の実情
- ・貴重な話を聞いて良かったが、グループの人数が多過ぎる気がした。もう少し小規模で行えると意見も出しやすかった。
- ・養成校と実習園の連携、研修も行ってほしい。情報交換会を行って欲しい。
- ・今の学生の気質について

●感想、お気づきの点等ございましたらお書き下さい。

<養成校>

- ・どちらの園の先生方がご参加されているのかわかると良かったと思います。
- ・事前にテーマを絞って、意見交換をしてはどうでしょう。
- ・名刺交換の場、時間をいただいたのが良かったです。そのおかげで、一番聞きたかった事等が話せて良かったです。
- ・園の先生方の名簿があるとわかりやすく助かったと思います。
- ・参加している保育施設、養成校の一覧が欲しかった。
- ・参加園の名簿が養成校側になくわかりづらかった。全員の名簿があると良かったと思った。
- ・A・Bグループのトークセッションを代表者がまとめ、A・B間の共有をしてもよいのではないかと。

- ・名札が小さく見えなかった。テーブルにA4の紙を4つ折り、三角形を作るサミットのような名札でも良いのではないかと考えた。
- ・第1部の養成校からの3点は、予め提示していたと司会の方がおっしゃっていましたが、最初にご案内いただいた用紙には記載されておらず、事務方と共有できなかったため、特に②新卒からの平均勤務年数はご提示できませんでした。

<保育施設>

- 話題に関してテーマがあると話しやすい。もう少し時間があるといい。
- 窓が少々…………まぶしかったです。
- A・Bグループお互いの声が重なりましたネ。
- グループは、4，5人程度の小グループのほうが、全員の顔と声が聞こえて良いと思います。
- 園の人、学校側の人ができるような色を変えた名札や机上的名札があるとよいと思った。
- もう少し時間があると良いと思いました。